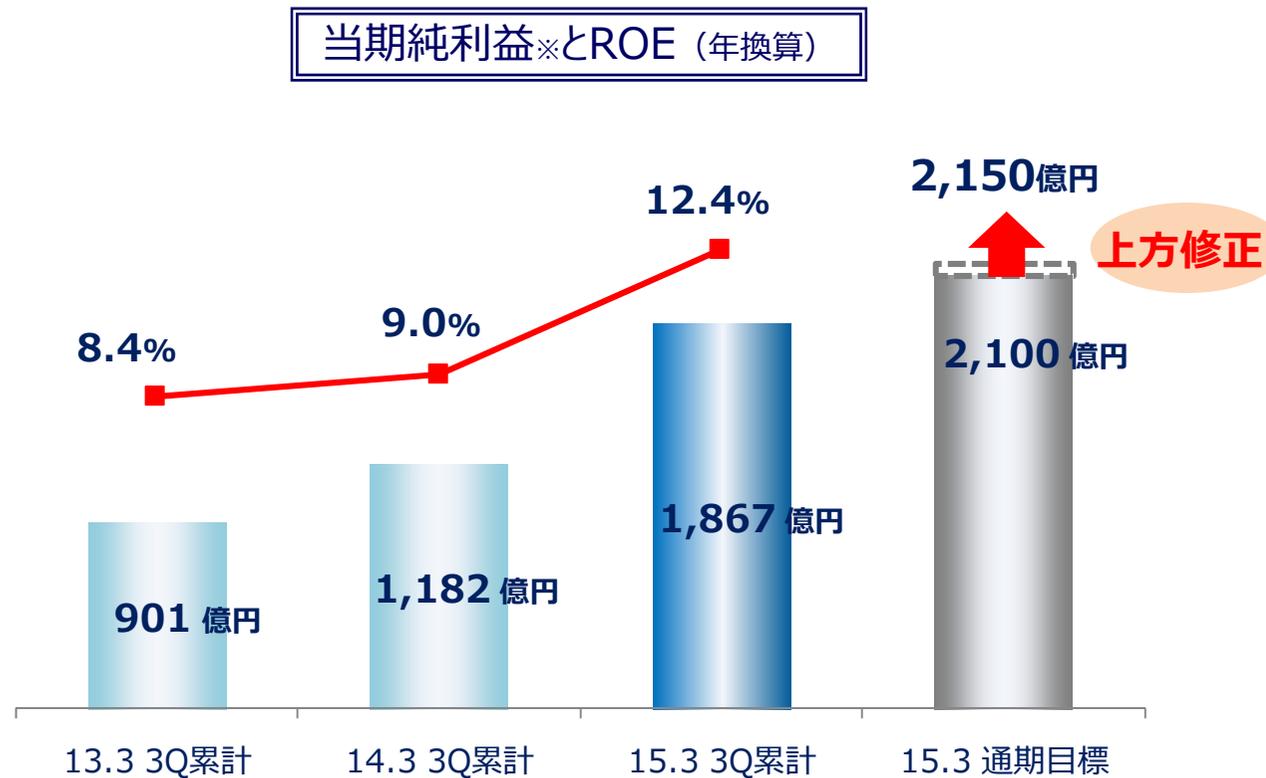


オリックス株式会社
2015年3月期第3四半期
決算説明資料

2015年2月3日

業績総括

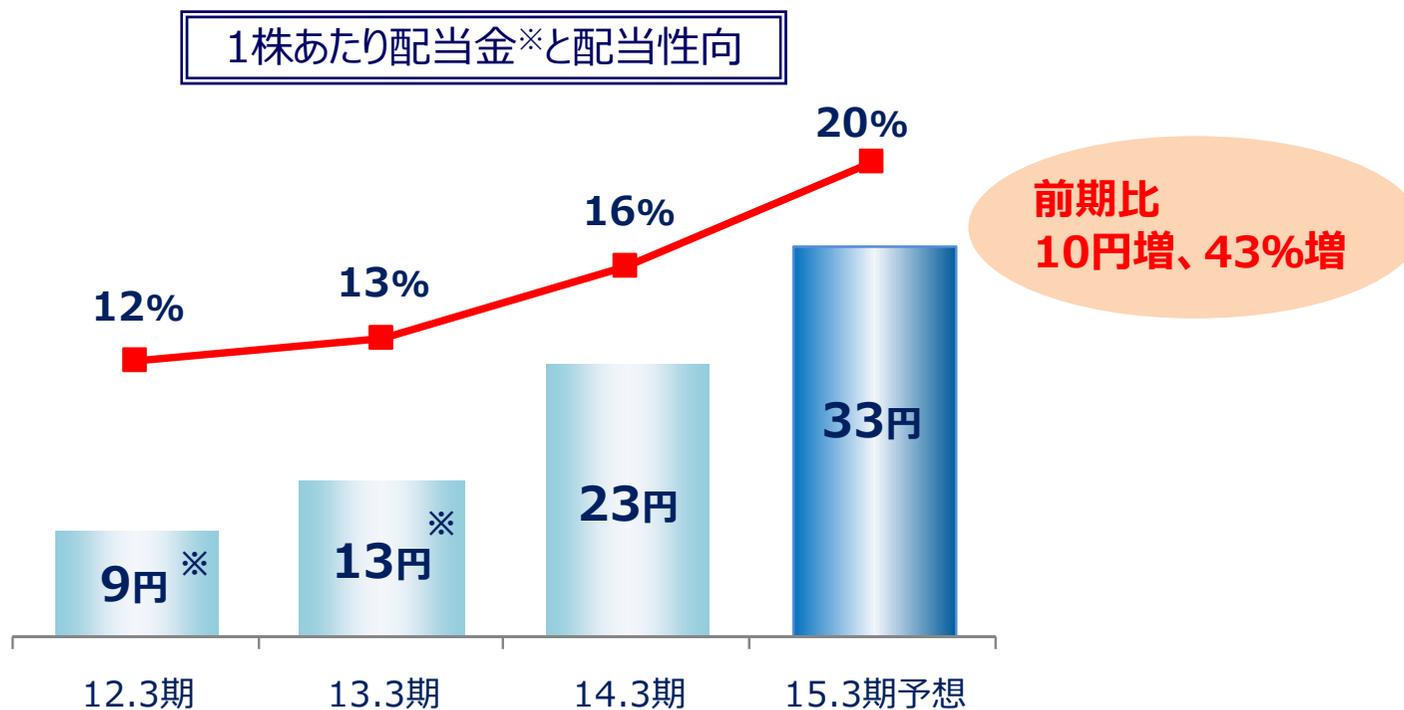
- ✓ 当期純利益は、前年同期比58%増の1,867億円
- ✓ 通期目標を2,100億円から2,150億円へ上方修正（進捗率87%）



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

2015年3月期 配当予想

- ✓ 1株あたり33円、配当性向を20%へ引き上げ、中間配当を来期より実施
- ✓ 引き続き利益成長のための積極的な投資と還元のバランスを重視

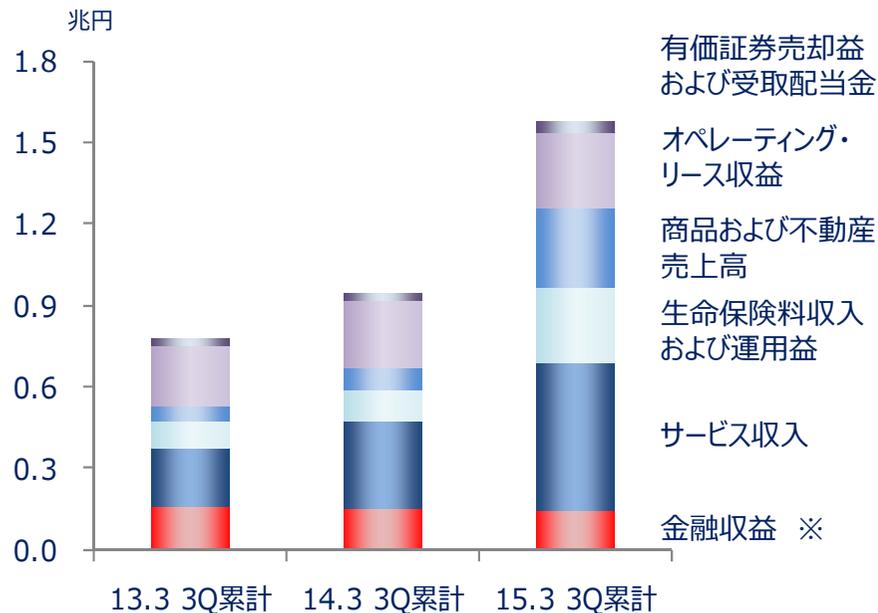


※株式分割を考慮し遡及して調整しています

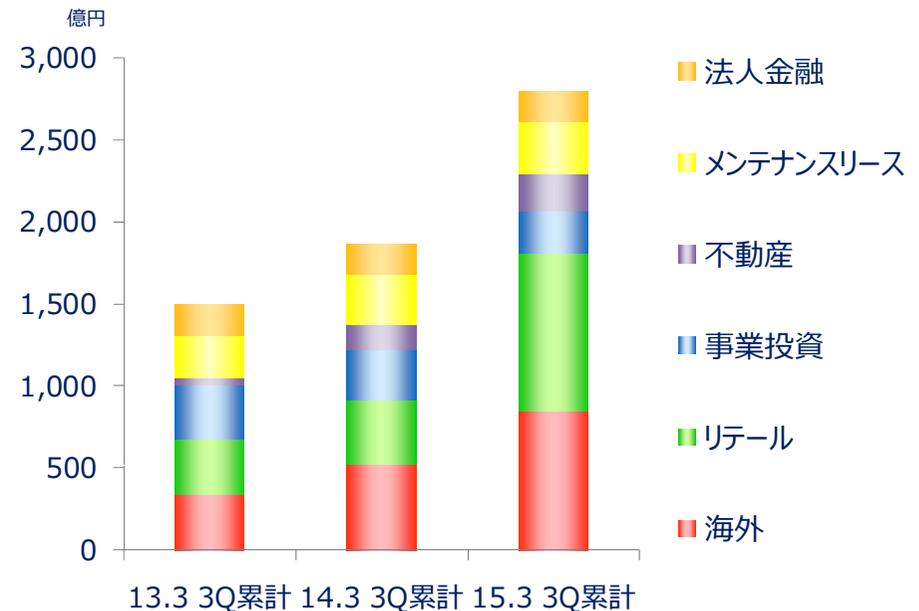
セグメント別業績 (全体)

- ✓ 収益：非金融収益が伸長
- ✓ 利益：リテール・海外・不動産が増益を牽引、法人金融・メンテも寄与

セグメント収益



セグメント利益



※金融収益は、主に従来勘定科目「ファイナンス・リース収益」と「貸付金収益および有価証券利息」を合算したものです。

セグメント別業績 (法人金融サービス)

(単位：億円)

- ✓ 手数料収益の拡大により、サービス収入が増加
- ✓ 弥生株式会社のグループ入りにより、新たな顧客基盤を獲得

	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
金融収益	396	372	278	270	97%
オペレーティング・リース収益	245	256	196	184	94%
サービス収入	139	149	95	136	143%
セグメント収益	784	788	577	611	106%
セグメント費用	535	546	401	428	-
セグメント利益	259	249	180	187	104%
ファイナンス・リース投資	3,668	4,503	4,138	4,296	
営業貸付金	5,086	4,707	4,703	4,528	
セグメント資産	9,433	9,921	9,546	10,832	
ROA	1.7%	1.6%	1.6%	1.5%	

セグメント別業績 (メンテナンスリース)

- ✓ 自動車の資産拡大により、オペレーティング・リース収益とサービス収入が増加 (単位：億円)
- ✓ 付加価値サービスの提供も寄与し、高いROAを維持

	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
金融収益	91	95	70	80	113%
オペレーティング・リース収益	1,618	1,771	1,330	1,404	106%
サービス収入	584	603	455	470	103%
セグメント収益	2,347	2,513	1,888	1,982	105%
セグメント費用	1,999	2,143	1,586	1,666	-
セグメント利益	349	371	303	316	104%
ファイナンス・リース投資	1,267	1,500	1,326	1,822	
オペレーティング・リース投資	4,188	4,680	4,594	4,888	
セグメント資産	5,493	6,220	5,962	6,758	
ROA	4.1%	3.9%	4.3%	4.2%	

セグメント別業績 (不動産)

- ✓ 資産圧縮の一方で、売却益を含め高水準のオペレーティング・リース収益を計上 (単位：億円)
- ✓ 運営事業や不動産管理手数料など、サービス収入も高いレベルを維持

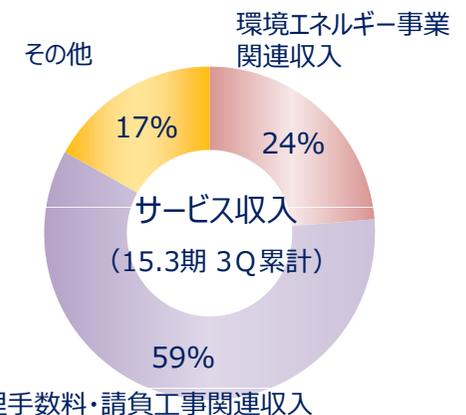
	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
オペレーティング・リース収益	694	666	523	559	107%
うち賃貸不動産売却益	103	138	102	181	178%
サービス収入	949	1,018	791	816	103%
商品および不動産売上高 他	439	288	172	66	38%
セグメント収益	2,196	2,034	1,536	1,472	96%
セグメント費用	2,127	1,903	1,420	1,280	-
セグメント利益	56	180	157	225	143%
オペレーティング・リース投資	5,920	5,271	5,628	4,432	
事業用資産	1,723	1,666	1,675	1,696	
賃貸資産前渡金	856	616	507	518	
関連会社投資	731	625	604	979	
セグメント資産	11,332	9,624	10,080	8,778	
ROA	0.3%	1.1%	1.2%	2.1%	

セグメント別業績 (事業投資)

- ✓ 大京や新規PE投資先の連結化によりセグメント収益が大幅に増加
- ✓ 環境エネルギー事業も順調に拡大

(単位：億円)

	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
金融収益	239	183	145	116	80%
有価証券売却益および受取配当金	188	97	83	69	82%
商品および不動産売上高	363	897	537	2,352	438%
サービス収入	431	609	436	1,697	389%
セグメント収益	1,237	1,801	1,214	4,288	353%
セグメント費用	960	1,542	1,000	4,070	-
持分法投資損益等	73	682	85	34	-
セグメント利益	349	941	299	252	85%
営業貸付金	1,576	1,188	1,309	963	
投資有価証券	1,282	952	1,001	808	
事業用資産	381	536	465	781	
棚卸資産	29	1,117	91	1,046	
関連会社投資	657	767	982	667	
セグメント資産	4,443	5,657	4,446	6,049	
ROA	4.7%	11.5%	5.5%	3.7%	



セグメント別業績 (リテール)

(単位：億円)

- ✓ 銀行事業、生命保険事業が順調に拡大
- ✓ ハートフォード生命の買収により、利益・資産ともに大幅に増加

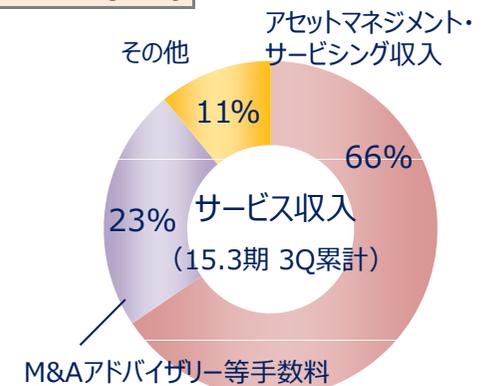
	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
金融収益	458	504	378	396	105%
生命保険料収入および運用益	1,395	1,558	1,133	2,762	244%
有価証券売却益および受取配当金 他	35	54	43	194	455%
セグメント収益	1,888	2,116	1,554	3,353	216%
セグメント費用	1,503	1,657	1,196	2,752	-
持分法投資損益等	47	39	37	365	-
セグメント利益	432	499	396	966	244%
営業貸付金	12,061	12,768	12,402	13,363	
投資有価証券	6,367	7,761	7,258	23,342	
セグメント資産	19,941	21,670	20,969	37,710	
ROA	1.4%	1.5%	1.6%	2.8%	

セグメント別業績 (海外)

- ✓ ロベコや米州の手数料事業が好調、サービス収入が増加
- ✓ 資産は、為替の影響を除くと、前期末に比べて米州とアジア現地法人で増加

(単位：億円)

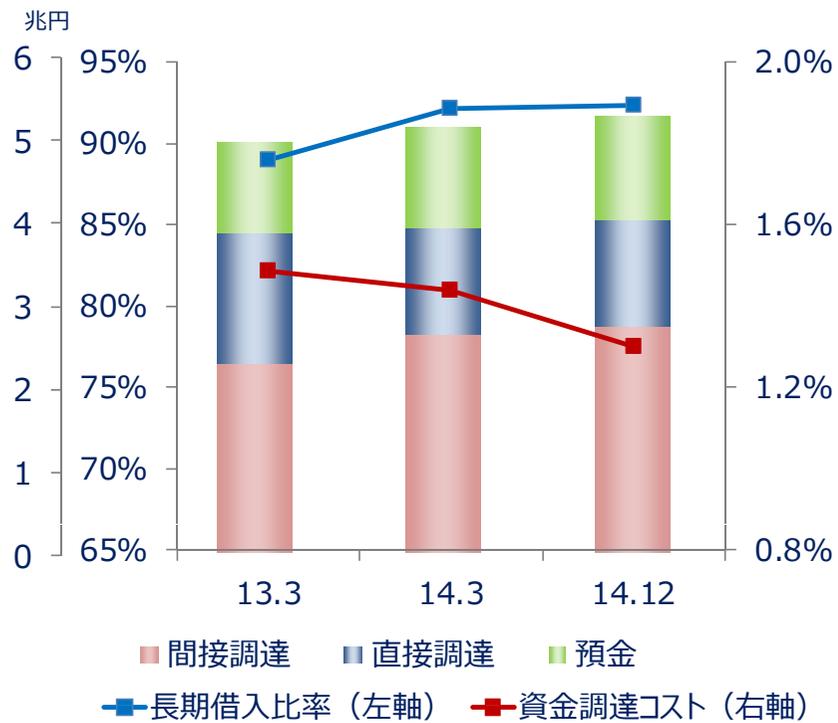
	13.3期	14.3期	14.3期 3Q累計	15.3期 3Q累計	前年 同期比
金融収益	550	573	437	465	106%
有価証券売却益および受取配当金	137	158	99	140	142%
オペレーティング・リース収益	615	766	574	600	105%
サービス収入	727	2,288	1,506	2,353	156%
セグメント収益	2,035	4,122	2,749	4,065	148%
セグメント費用	1,505	3,379	2,175	3,352	-
持分法投資損益等	-2	-46	-50	134	-
うち非支配持分調整	-87	-91	-74	-130	-
セグメント利益	528	697	524	848	162%
ファイナンス・リース投資	2,968	3,326	3,322	3,954	
営業貸付金	2,167	2,468	2,250	3,477	
オペレーティング・リース投資	2,443	2,640	2,712	2,949	
投資有価証券	2,712	3,233	3,004	4,419	
関連会社投資	1,430	1,435	1,512	2,023	
セグメント資産	13,184	19,721	19,287	22,686	
ROA	2.7%	2.6%	2.7%	3.4%	



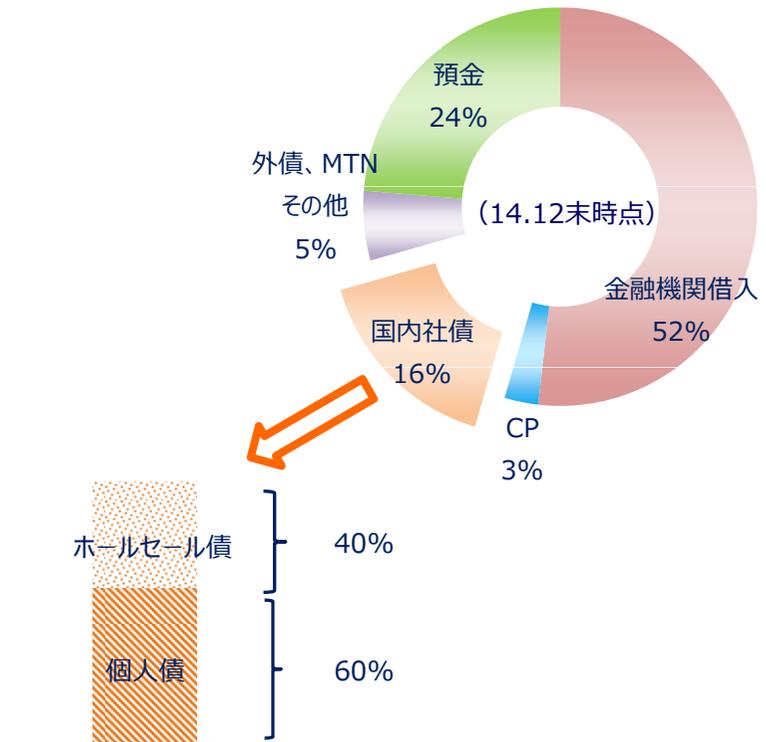
財務① 調達構造

- ✓ 調達の安定化とコストコントロールの両方を実現
- ✓ 長期化・安定化を追求

調達※・長期借入比率※・コストの推移



資金調達※の内訳

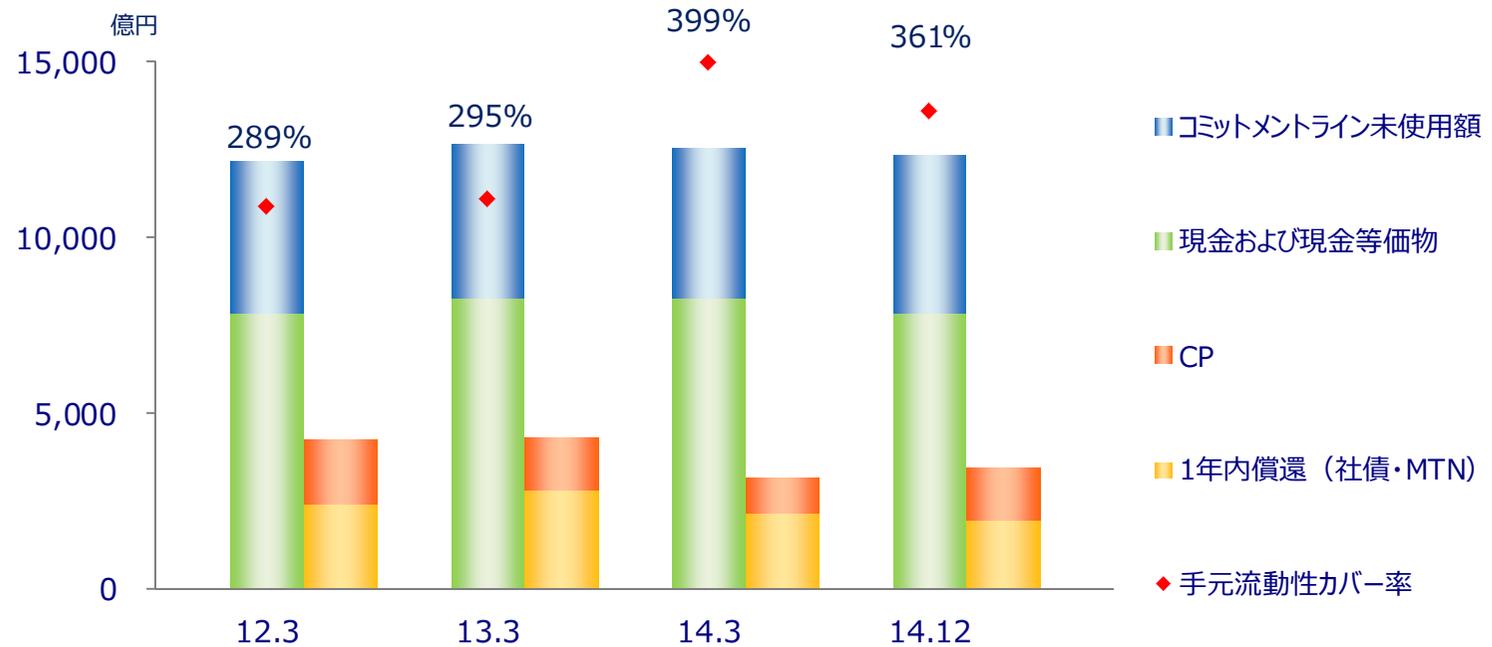


※調達残高と長期借入比率にはABS・CMBSを含まず

財務② 手元流動性

- ✓ 高い手元流動性を維持

市場性短期債務に対する手元流動性



財務③ 社債発行実績と償還スケジュール

✓ 7年・10年社債を発行し、長期化を推進

■発行実績

銘柄	発行日	発行金額	期間(年)	発行区分	クーポンレート	T スプレッド
----	-----	------	-------	------	---------	---------

【オリックス 国内公募債】

第178回	2014/6/16	300億円	7	個人債	0.552%	25bp
第179回	2014/6/5	200億円	10	ホールセール債	0.900%	32bp
第180回	2014/9/4	200億円	10	ホールセール債	0.797%	30bp
第181回	2014/9/26	300億円	10	個人債	0.812%	30bp
第182回	2014/12/9	300億円	5	個人債	0.272%	17bp

2015/3期発行額

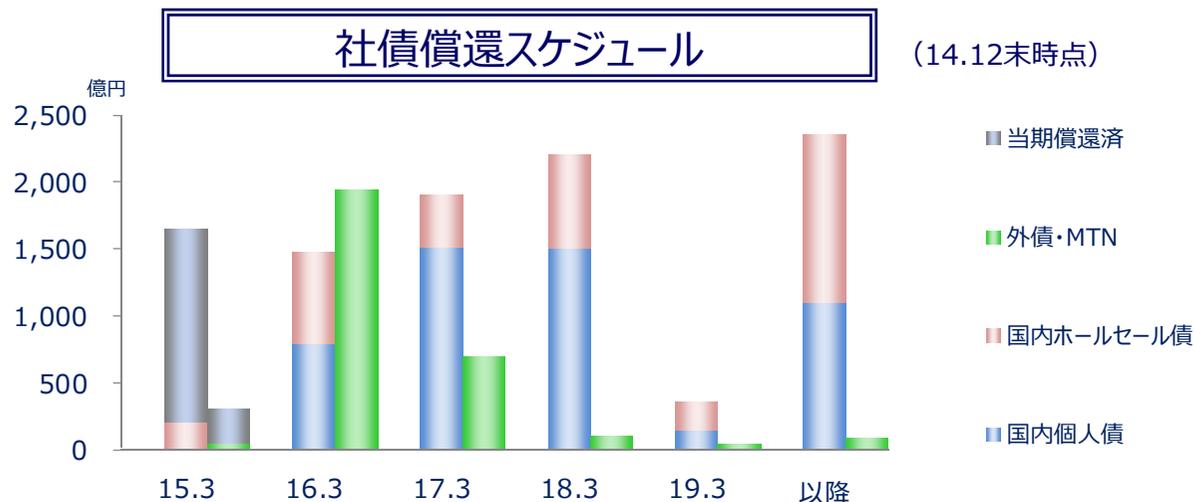
1,300億円 (ホールセール債：400億円 個人債：900億円)

【現地法人発行債】

韓国ウォン債	2014/7/16	KRW 10,000mil	11億円	2	ホールセール債	2.741%	-
韓国ウォン債	2014/9/19	KRW 20,000mil	22億円	3	ホールセール債	2.673%	-
韓国ウォン債	2014/11/5	KRW 10,000mil	11億円	2	ホールセール債	2.246%	-
韓国ウォン債	2014/11/5	KRW 20,000mil	22億円	5	ホールセール債	2.607%	-

2015/3期発行額

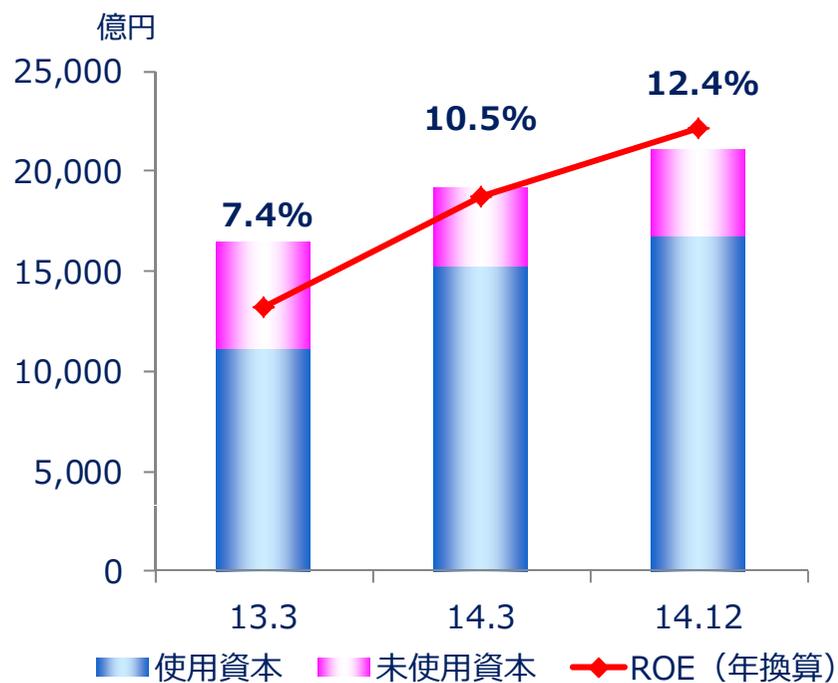
66億円 (ホールセール債：66億円)



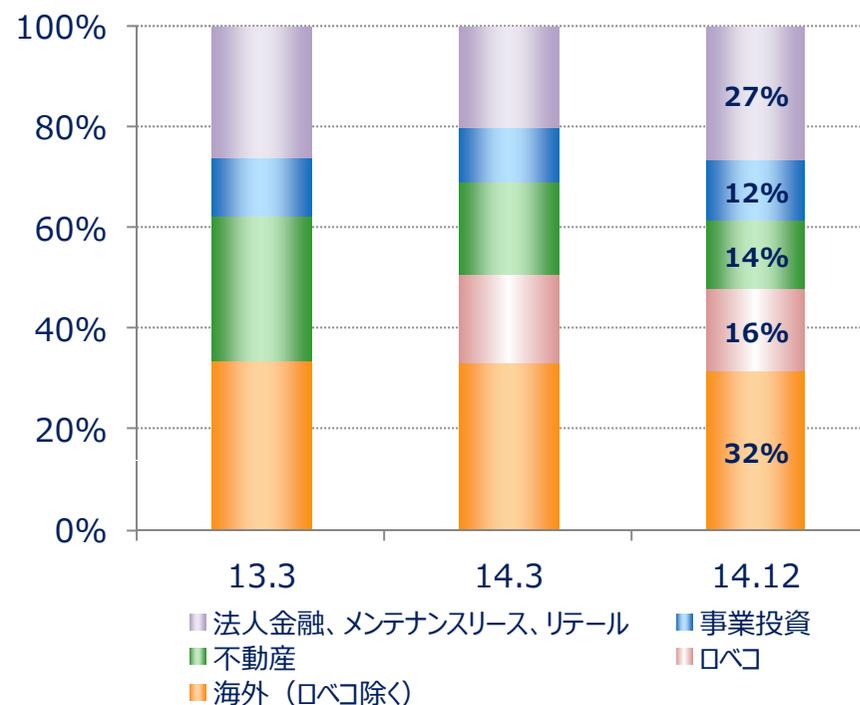
財務④ 資本の使用状況

- ✓ 株主資本使用率は8割弱を維持
- ✓ ポートフォリオを入れ替え、資本の充足をコントロール

株主資本の使用状況とROE



セグメント別使用状況



財務⑤ アセットクオリティ

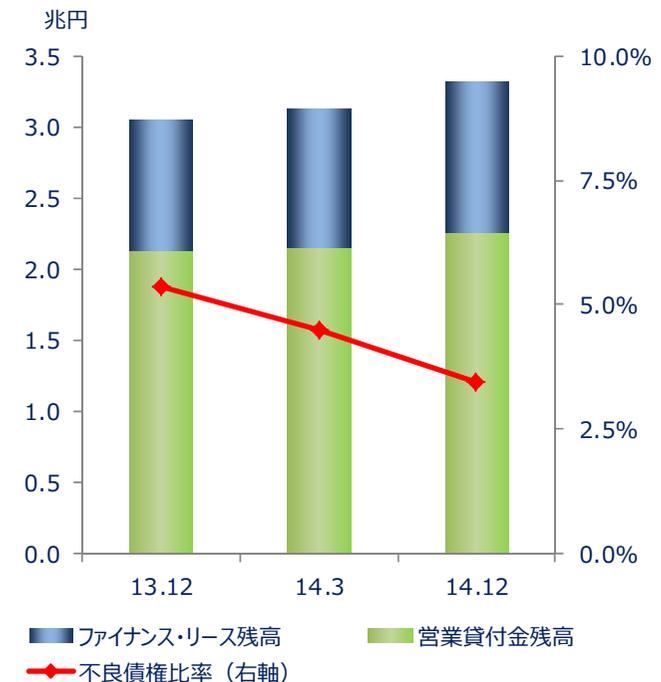
- ✓ 個別引当対象貸付金債権額に対する保全率は93%
- ✓ 不良債権比率は引続き低下傾向

個別引当対象貸付金債権額の保全率

(億円)	13.12	14.3	14.12
個別引当対象貸付金債権額 (a)	1,410	1,200	919
回収見込額	936	777	* 585
不動産担保等で保全されている額	851	691	519
保全額 (b)	1,324	1,114	852
不動産担保等で保全されている額	851	691	519
貸倒引当金残高 (個別引当)	474	423	334
保全率 (b)/(a)	93.9%	92.8%	92.8%

* 個別引当対象貸付金債権額のうち担保等から全額回収が見込める債権額 (126億円) 、および要引当対象債権額のうち担保等からの回収見込み額 (459億円) の合計

不良債権比率の推移



※上記には、変動持分事業体の連結にかかる会計基準の適用による影響額は含めておりません。

事業活動トピックス

- ✓ 非金融事業の拡大に向けて、各事業においてさまざまな案件・取組に着手
- ✓ 当社の強み、基盤を生かしながら、さらに新たな領域へとチャレンジ

法人金融 サービス

- 業務ソフトウェアサービス会社「弥生」の買収
- 情報サービス世界最大手「エクスペリアン」と提携、海外企業の情報提供を開始
- ハウスプリペイドカード発行システムを活用した販売促進支援サービスを開始

自動車

- 北九州市に「オリックストラックレンタル」を新規開設
- 運送事業者向けテレマティクス「e-テレマPRO」を開始

不動産 運営・開発

- 有料老人ホーム2箇所を新規開設、全国で23棟・1,900室規模に運営拡大

PE投資

- 医療機器販売会社「イノメディックス」へ資本参加

環境 エネルギー

- 戸建て向け太陽光パネルと蓄電池を組み合わせたリース&レンタルサービス

まとめ

純利益は前年同期比58%増の1,867億円、ROE12.4%

通期の純利益目標を2,150億円へ上方修正

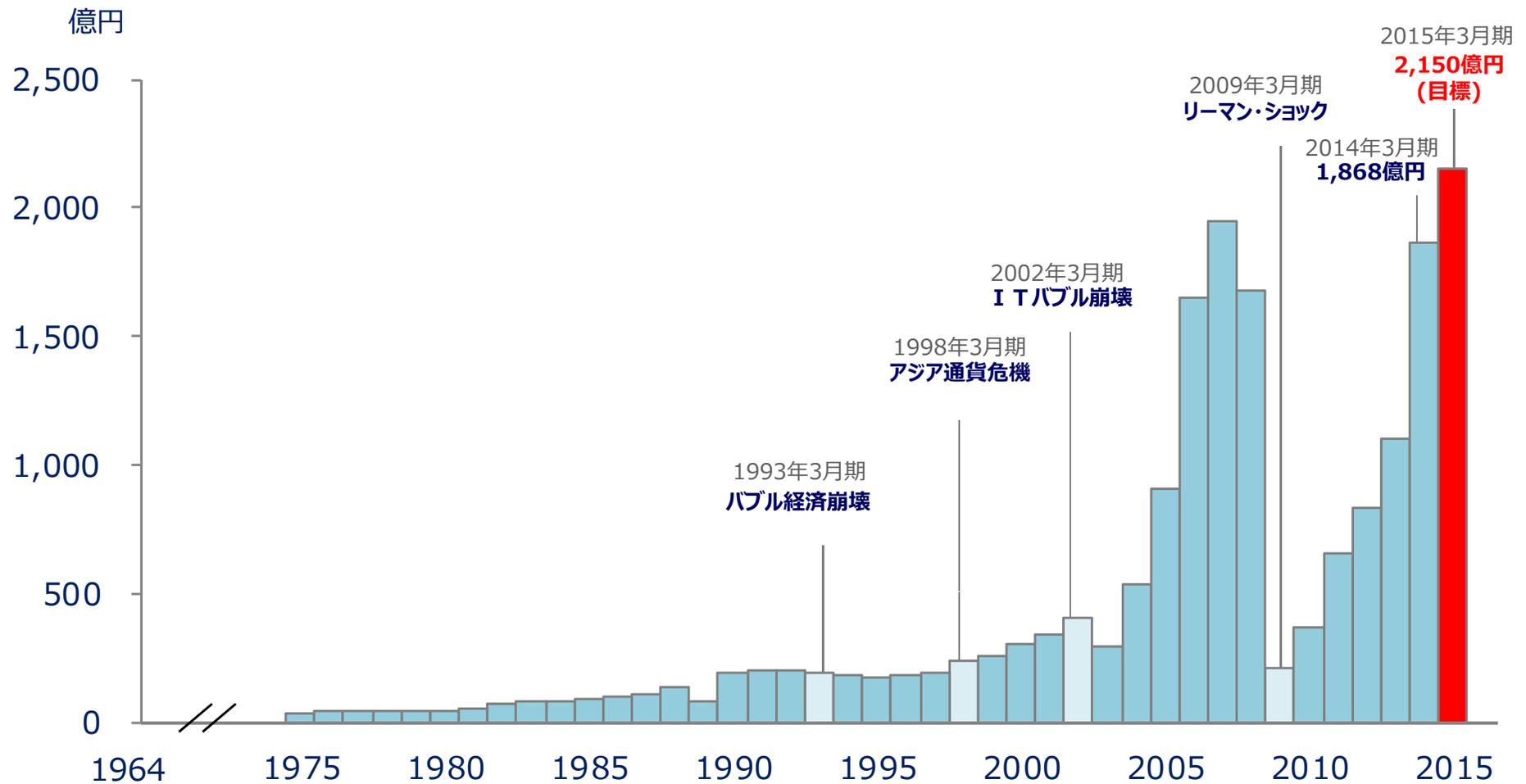
今期末配当予想は33円、配当性向を20%へ引き上げ

補足資料

オリックスについて 持続的な成長

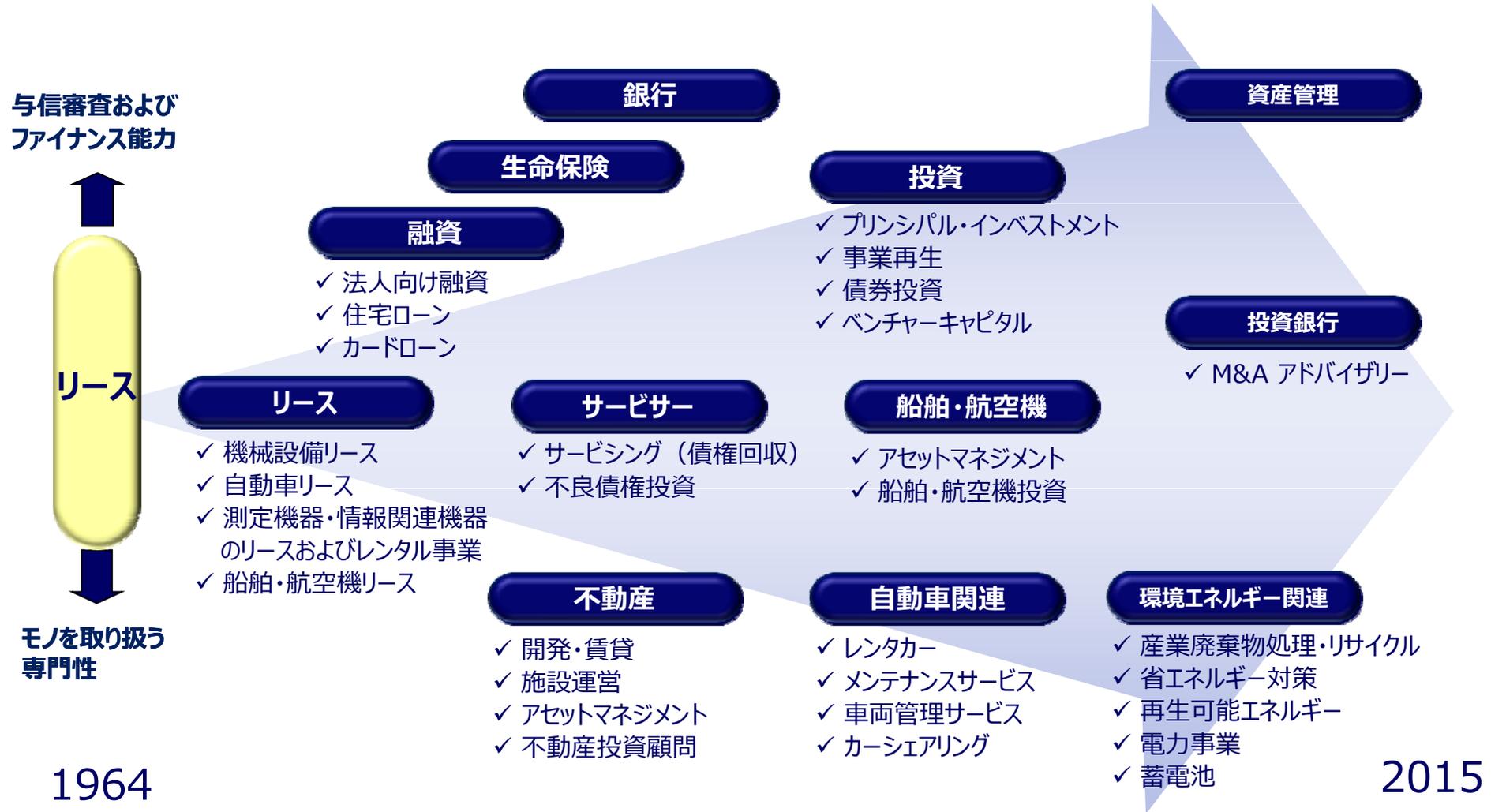
✓ 15年3月期に過去最高益の更新を目指す

当社株主に帰属する当期純利益



オリックスについて 事業の専門性とグループの総合力

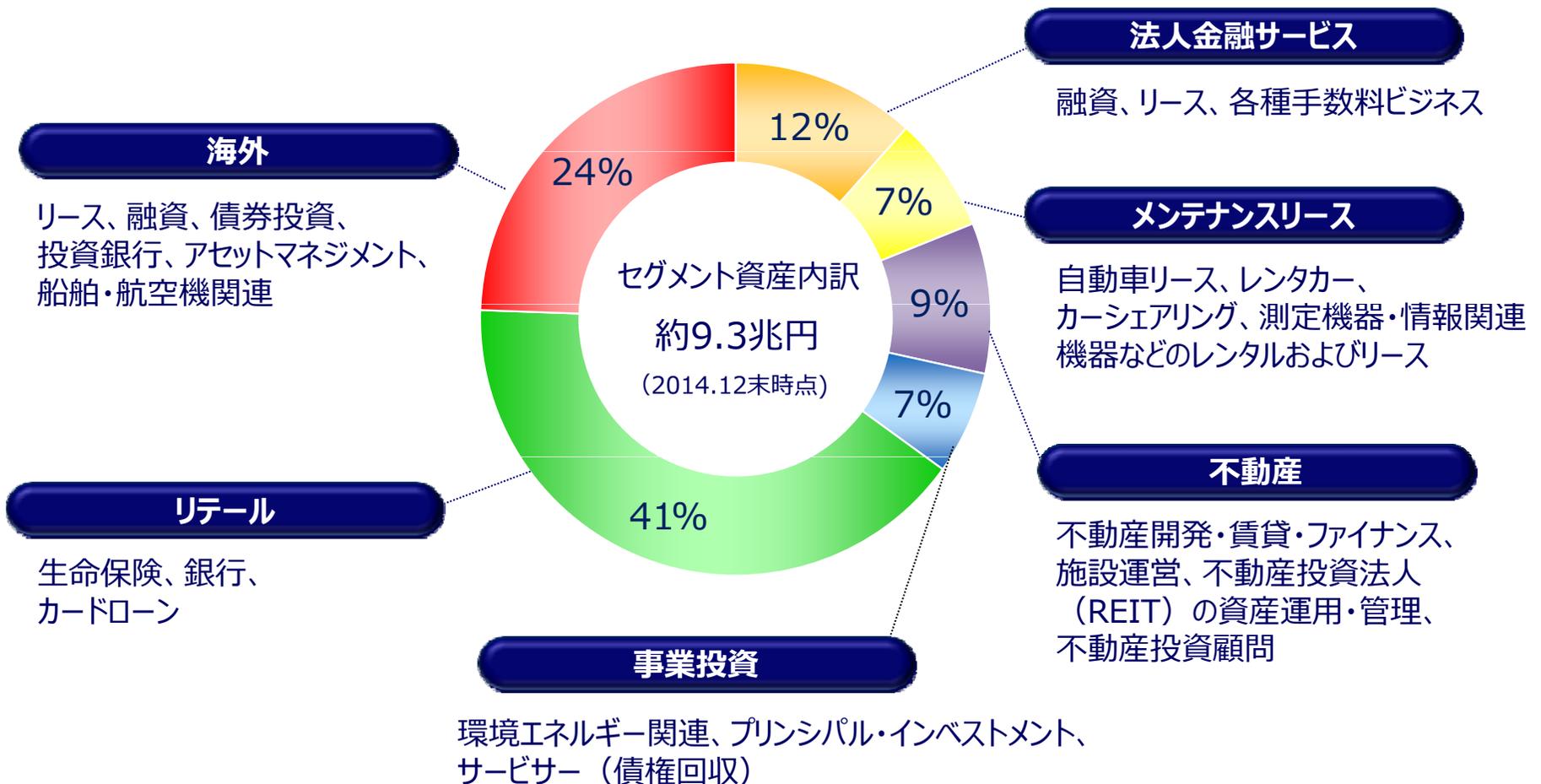
✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



オリックスについて

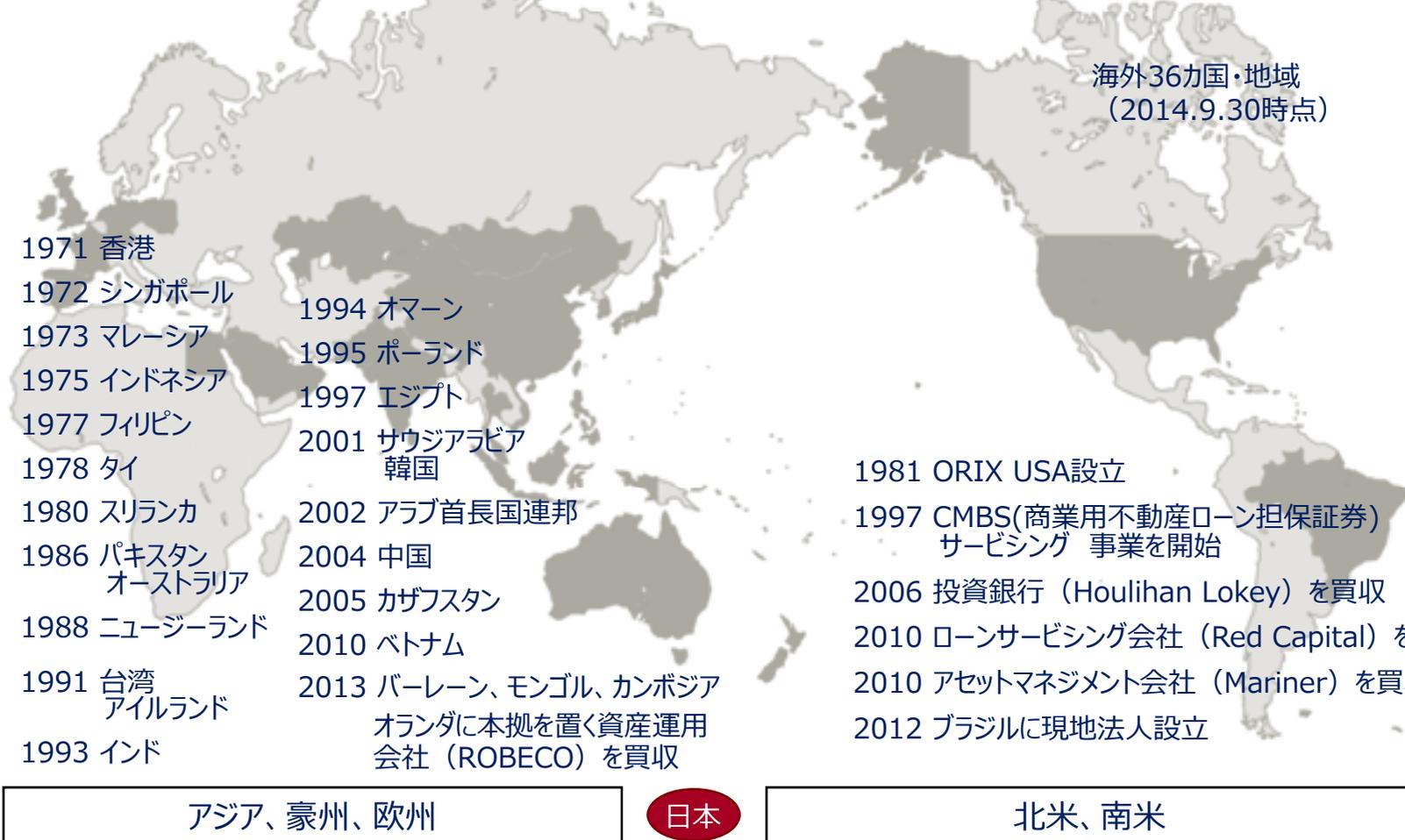
セグメント毎の資産内訳

✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している



オリックスについて 海外展開の歴史

- ✓ 1971年の香港を皮切りに、国内で培ったノウハウを元に海外展開
- ✓ 国際化という物々しい考え方ではなく日本の垣根を外すという考え方



補足資料 (1) 不動産セグメント

■ 不動産セグメント資産の内訳

(単位：億円)

	13.3期	14.3期	15.3期 3Q
賃貸不動産	7,544	6,658	5,988
賃貸中	6,034	5,369	4,947
開発中	1,510	1,289	1,041
マンション分譲資産	554	311	227
NRL・特定社債	1,134	488	※ 315
運営事業資産	1,614	1,598	1,622
その他	486	569	626
合計	11,332	9,624	8,778

※ 左記に含まれていない、国内グループ会社の保有するNRL・特定社債残高133億円（14/12末）

■ 賃貸不動産売却額/売却益

(単位：億円)

	13.3期	14.3期	15.3期 3Q累計
売却額	1,634	1,010	1,113
売却益	103	138	181

補足資料 (2) 海外セグメント①

■海外セグメント資産の内訳

(単位：億円)

地域別	13.3期	14.3期	15.3期 3Q
米州	4,759	5,181	7,674
アジア・豪州	4,924	6,556	6,355
中華圏	1,804	1,966	2,507
中東・欧州	159	419	424
ロベコ	-	3,751	3,894
その他	1,537	1,849	1,832
合計	13,184	19,721	22,686

事業ライン別	13.3期	14.3期	15.3期 3Q
米州	4,759	5,181	7,674
米州以外のリース事業	5,030	5,675	6,732
米州以外の投資事業	3,395	5,115	4,385
ロベコ	-	3,751	3,894
合計	13,184	19,721	22,686

補足資料 (3) 海外セグメント②

■ □ベコの利益・資産の状況

(単位：億円)	14.3期 4Q	15.3期 1Q	15.3期 2Q	15.3期 3Q
セグメント利益	112	83	70	126
セグメント資産	3,751	3,685	3,694	3,894
ROA (年換算)	5.0%	5.7%	5.3%	6.2%

(単位：十億ユーロ)	14.3期 4Q	15.3期 1Q	15.3期 2Q	15.3期 3Q
期末運用資産残高	210.8	223.0	237.7	246.0
純資金流入額	2.1	2.9	2.7	-1.6
期首運用資産残高に対する比率	1.1%	1.4%	1.3%	-0.8%
機関投資家向け	101.1	106.6	114.1	117.6
個人投資家向け	109.7	116.4	123.6	128.4
純手数料収益 (単位:百万ユーロ)	182.9	200.3	229.2	328.8

補足資料 (4) 米国会計基準に準拠していない財務指標①

本資料は、米国会計基準に準拠しない（Non-GAAP）財務指標が含まれています。具体的には、証券化に伴う支払債務（ABS, CMBS）を控除した総資産および長期借入債務、2010年4月1日に適用された変動持分事業体（VIE）の連結にかかる会計基準による利益剰余金への累積的影響額を控除した当社株主資本およびそれらを用いて計算したその他の指標を開示しています。

Non-GAAP財務指標は、2014年12月31日現在の財政状態を過年度期間と比較する上で意味のある追加的な情報を投資家に提供していると考えています。2010年4月1日に会計基準書アップデート第2009-16号および2009-17号（以下、「当会計基準」という。）を適用したことで、特定のVIEを連結することが求められました。当会計基準の適用は、連結財務諸表上の資産および負債の著しい増加と利益剰余金（税効果控除後）の減少をもたらしましたが、これら連結VIEへの投資から得られる正味のキャッシュ・フローや経済的效果は変わりありません。したがって、米国会計基準に準拠して計算された財務情報の補足として、特定のVIEを連結することによる資産・負債への影響を除いた財務指標を提供することは、現在の財政状態の全体的な理解を向上させ、当会計基準の適用による貸借対照表の大きな変動を除くこれまでの財務および営業のトレンドを投資家が評価することを可能にしていると考えています。

米国会計基準に準拠した連結財務諸表の補足情報としてNon-GAAP財務指標を提供しており、Non-GAAP財務指標だけを利用したり、Non-GAAP財務指標をその最も直接的に比較できる米国会計基準に準拠した財務指標の代替指標として利用すべきではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した最も直接的に比較することができる財務指標との調整表を本資料で開示された期間について示すと、26ページのとおりになります。

補足資料 (5) 米国会計基準に準拠していない財務指標②

財務指標	(単位：億円)	13.3期	14.3期	15.3期 3Q
総資産	(a)	84,397	90,694	113,795
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務		6,798	2,538	2,738
調整後総資産	(b)	77,599	88,156	111,057
短期借入債務		4,207	3,096	3,081
長期借入債務	(c)	40,615	38,589	39,859
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務		6,798	2,538	2,738
調整後長期借入債務	(d)	33,818	36,050	37,121
長短借入債務（預金除く）	(e)	44,823	41,685	42,939
調整後長短借入債務（預金除く）	(f)	38,025	39,146	40,201
当社株主資本	(g)	16,436	19,187	21,064
控除：当会計基準の適用に伴う利益剰余金の累積的影響額		-166	-52	-30
調整後当社株主資本	(h)	16,602	19,239	21,094
当社株主資本比率	(g) / (a)	19.5%	21.2%	18.5%
調整後当社株主資本比率	(h) / (b)	21.4%	21.8%	19.0%
D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(e) / (g)	2.7倍	2.2倍	2.0倍
調整後D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(f) / (h)	2.3倍	2.0倍	1.9倍
長期借入比率（ABS, CMBS含む）	(c) / (e)	91%	93%	93%
長期借入比率（ABS, CMBS除く）	(d) / (f)	89%	92%	92%

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

本資料は、調整後の長期借入債務および有利子負債、調整後の総資産および調整後の当社株主資本や、さらにそれらを用いて計算されたその他の指標や、調整後のセグメント利益を含めた米国会計基準に準拠していない（Non-GAAP）特定の財務指標を含んでおります。Non-GAAP財務指標は、米国会計基準に準拠した連結財務諸表や表示を含んでいる最も直接的に比較できる財務指標に対して、分離または代用として考慮されるものではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した財務指標を最も直接的に比較することができる調整表につきましては、本資料26ページを参照下さい。

また、ハートフォード生命保険株式会社は現在オリックスグループの一員であり、The Hartford Financial Services Group, Inc.又はその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

オリックスに関する追加情報については、弊社ホームページをご参照いただくか、
下記までご連絡下さい。

投資家情報 : URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/>

IR資料室 : URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/library/>

オリックス株式会社 経営企画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154